

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進 事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 男女共同参画推進課 両立推進係

電話番号：058-272-1111(内3571)

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,626 千円 (前年度予算額： 23,815 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 23,815 | 15,877 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,938 |
| 要求額 | 19,626 | 13,084 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,542 |
| 決定額 | 19,626 | 13,084 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,542 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・女性活躍推進法が平成28年4月に施行され、同法に基づく県推進計画として、「清流の国ぎふ女性の活躍推進計画」を29年3月に策定。岐阜県での女性の活躍を迅速かつ重点的に推進するため、女性の活躍推進に関する施策を確実に実施しなければならない。
- ・女性の活躍のためには、仕事と家庭の「両立支援」が肝要。育児休暇制度の活用、時間外労働の縮減、有給休暇の取得促進など、企業における職場環境の改善が重要。
- ・従業員の働きやすい職場環境整備のため、「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」に積極的に取り組み、他の企業の模範となる「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定拡大を図るとともに、その取組みを広く県内外にPRする。
- ・「県男女共同参画計画(第5次)」において、令和10年度末までにエクセレント企業認定数を300社とする目標値を設定。

(2) 事業内容

① ワーク・ライフ・バランス推進企業登録の拡大【継続】

- ・従業員の「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」に取り組む企業を「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業」として登録

[登録要件] 県内に本社又は事業所を有する企業・団体

[登録数] 2,521社(R5年度末)

[有効期間] 2年更新(一般事業主行動計画策定企業は別途設定)

[メリット] 県内金融機関での金利優遇制度
建設工事入札参加資格における主観点数の加点 など

②エクセレント企業の育成・拡大【継続】

・ワーク・ライフ・バランス推進企業の中から、優良な取組みや他の模範となる独自の取組みを実施する企業を「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」として認定し、その取組みを広く周知する。

・なお、「エクセレント企業」の認定にあたっては、エクセレント企業として相応しい取組みを行うため、仕事と家庭の両立支援アドバイザーによるコンサルティングを行う。

[認定要件] 一般事業主行動計画を策定（岐阜労働局提出）
従業員が働きやすい職場環境の整備（制度活用度）

[認定数] 210社（R6年度末）

[メリット] マスコミ等を活用した取組みPR
就職ガイダンス、就労支援窓口におけるPRなど

③エクセレント企業の認定式【継続】

・エクセレント企業に認定された企業の認定証授与式を行う。

・エクセレント企業同士が集まり、ワーク・ライフ・バランス等の働き方の取組みを交流する会を行う。

④エクセレント企業のPR【継続】

・エクセレント企業の認知度向上を図るため、エクセレント企業の取組みを広報し、広く効果的にPRを行う。

・エクセレント企業の取組みを、ロールモデルとしてインターネット上で動画配信し、その取組みを県内に広く発信することにより、県内企業によるワーク・ライフ・バランスの取組みの一層の推進を図る。

・就職を控えた学生へのエクセレント企業のPRとして、県内学校と連携し、キャリアデザインに関する授業や就職ガイダンス等の機会を活用したワーク・ライフ・バランス講座を実施する。

・これらの取組みにより、県内外の求職者やUIJターン就職者におけるエクセレント企業の認知度を向上することで、エクセレント企業を岐阜県への定住者、人口増加（地方創生）を推進するためのツールの一つとして活用していく。

⑤休業・休暇等両立支援制度実態調査【継続】

・県内企業の育児休業取得率、年次有給休暇の取得率、子の看護等休暇制度の就業規則等への整備率等を調査分析。

・調査結果は、こども計画等の目標数値として設定しており、各施策の達成状況を確認する指標として活用。

[調査数] 1,400社

[調査項目] 育児休業制度・取得実績、年次有給休暇制度・取得実績、
短時間勤務制度導入状況、女性の採用・継続就労等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・広域的な企業への取組みとして県負担は妥当。
- ・県1/3 国2/3 (地域少子化対策重点推進交付金 (予定))

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-----------------------|--------|--|
| ワーク・ライフ・バランス推進企業登録の拡大 | 413 | 優良企業発掘のための講師派遣等 |
| エクセレント企業の育成・拡大 | 5,647 | 育成・拡大するための講師派遣等 |
| エクセレント企業認定式 | 3,116 | 認定式の開催費用 |
| エクセレント企業のPR | 9,008 | エクセレント企業認定制度周知及び学生向け講座を通じたPR |
| 県内企業のワーク・ライフ・バランス実態調査 | 1,442 | 休業・休暇等両立支援制度実態調査費用 (経年調査) (R7) 1,442千円 → (R8) 1,442千円 |
| 合計 | 19,626 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略 → 誰もが活躍できる社会
- ・県男女共同参画計画 → ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・少子化対策基本計画 → 働きながら子育てしやすい環境づくり
- ・県女性の活躍推進計画 → エクセレント企業の認定拡大

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 清流の国ぎふ創生総合戦略
 岐阜県男女共同参画計画（第5次）
 ○岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数
 R5末 198社 → R10末 300社

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | 終期目標 (R10) | |
|-----------------------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|-------|
| | | | | | 達成率 | |
| ①岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数 | | 210 | 240 | 260 | 300 | 66.6% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たにエクセレント企業として12社を認定した。 ・エクセレント企業の先進的な取組みの紹介（事例集・パネル・動画など）により、企業における両立支援の取組みが促進した。 ・両立支援に意欲のある企業に専門家等を派遣し、指導・助言をすることで、取組みを進めるうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。 |
| | 指標① 目標：222 実績：182 達成率：82.0% |
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たにエクセレント企業として17社を認定した。 ・エクセレント企業の先進的な取組みの紹介（事例集・パネル・動画など）により、企業における両立支援の取組みが促進した。 ・両立支援に意欲のある企業に専門家等を派遣し、指導・助言をすることで、取組みを進めるうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。 |
| | 指標① 目標：250 実績：198 達成率：79.2% |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たにエクセレント企業として15社を認定した。 ・エクセレント企業の先進的な取組みの紹介（事例集・パネル・動画など）や企業間交流会の実施により、企業における両立支援の取組みが促進した。 ・両立支援に意欲のある企業に専門家等を派遣し、指導・助言をすることで、取組みを進めるうえでの課題解決やレベルアップに繋がった。 |
| | 指標① 目標：276 実績：210 達成率：76.1% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) 3 | <p>共働き世帯の増加や高齢化に伴う介護負担の増加により、労働者のニーズが多様化する中で、仕事と家庭を両立しながらいきいきと働き続ける環境の整備をより一層推進する必要がある。</p> |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) 2 | <p>エクセレント企業の取組みは、全国的にも評価されており、県内企業における取組も促進されている。 H25：内閣府 内閣総理大臣表彰 1社 (フェニックス・介護) 内閣府 特命担当大臣表彰 1社 (ノバネットワーク・介護) H26：内閣府 特命担当大臣表彰 1社 (アース・クリエイト・建設) 厚労省 イクメングランプリ 1社 (アース・クリエイト・建設) H27：内閣府 内閣総理大臣表彰 1社 (萩原北病院・病院) H29：内閣府 特命担当大臣表彰 1社 (足近保育園・保育)</p> |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) 2 | <p>先進的に取り組む企業を育成し、そのノウハウを他の企業に普及させることで、全体のレベルアップを図っている。</p> |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 エクセレント企業は、令和6年度末で210社であり、令和10年度末までの目標300社を達成するためには約22.5社/年ペースで認定する必要がある。今後は、各地域でエクセレント企業をロールモデル(見本)として、その優良な取組みを県内企業に広げるため、企業の取組の質を保ちながら目標達成に向けて優良な企業を増やしていく必要がある。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ワーク・ライフ・バランス推進企業登録数及びエクセレント企業認定数は年々着実に増加しているものの、増加率は減少傾向にある。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | 【〇〇課】 |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |